

一月は行く、二月は逃げる・・・

昔から、あっという間に過ぎてしまう一、二月のことを「一月は行く、二月は逃げる」というのですが、本当にもうすぐ一月が終わってしまいます。一月が終わると、三年生が中学校に登校するのは残すところわずか25日です。三年生の中には受験真ただ中で心が落ち着かない人がいるかもしれませんが、でも、大丈夫。日本中の中学三年生が同じ気持ちですし、中学三年生の生徒数よりもすべての高校の定員数の方が多いのです。第一希望校に合格できればそれに越したことはありませんが、そうでなくても落ち込むことはありません。あなたの第一希望校であった高校にも「輝いている生徒」と「くすぶっている生徒」がいますし、第二希望の高校にも「輝いている生徒」と「くすぶっている生徒」がいるはずです。「どの高校に入学したか」ではなく、「高校で何を学んだか、何を体験したか」が大切なのです。今までの自分の努力に自信をもって、自分の力をすべて発揮してください。一足早く進路が決まった三年生、「受験は団体戦」です。まだ受験を控えている仲間たちが集中して勝負に臨めるようにするため、自分にできることを考えて残り少ない中学校生活を過ごしてください。

〈一学年 百人一首大会 1/10〉

1学年は、1月10日(金)午後に百人一首大会を行いました。武道場に学年全員が集まり、太鼓の音の後に読みあげられる札を集中して探す姿が見られました。中には、決まり字をマスターしていて、上の句が読み始まった瞬間に札をとる強者もありました。和歌ののどかな響きの中、札をとる「はい!」という声と札をはじく音が響き、ゆったりとした時間を過ごすことができました。

〈正月マラソン大会 1/11〉

加曾利中学校区青少年育成委員会主催の正月マラソン大会が加曾利中グラウンドと加曾利中の敷地外をぐるっと回るコースで行われました。

当日までの準備をはじめ、受付、コースの交通整理、救急用車両での伴走、参加賞配布、開閉会式の運営と、育成委員会の方々がてきぱきと動いてくださいました。

寒風の中、元気に走る子供たちの姿からエネルギーをもらうとともに、この子たちなら、万が一の災害の場合でも地域のために活躍できるなと感じました。

〈2年 自然教室 1/14~16〉

2学年は1月14~16日、那須甲子青少年自然の家において二泊三日の自然教室を行いました。

今回の自然教室は、雪に覆われた大自然の中で行われるいわゆる「ホワイトスクール」で、主にスキー学習やキャンドルフアイヤー、白河だるま絵付け体験などに取り組みました。

参加した生徒全員が全日程を無事に終えて、一回り大きくなって千葉市に帰ってきました。

今回の行事を通して学んだことを学校生活に生かし、4月から最上級生として加曾利中をぐいぐいとリードしてください。